

旧朝倉家住宅(渋谷区)

ここが旧朝倉家住宅の入口





旧朝倉家住宅 (重要文化財)

Kyū Asakura House (Important Cultural Property)

旧朝倉家住宅は、旗本町の南西斜面を利用して東京府議会議員を勤めた朝倉徳治郎によって、大正8年(1919)に建てられました。

宅地北側に主屋が建ち、西に土蔵、東に庭門や附属屋(車庫)があります。このうち、主屋、土蔵及び宅地が重要文化財です。なお、庭門及び附属屋が母として指定されています。

主屋は、一部2階建ての主棟部を中心に、接客のための応接間、内向きの座敷や茶室など、機能に合わせた異なる意匠でまとめられ、土蔵は主屋に附随しています。

また一体となる庭園は、築山という地形を取り入れた回遊式庭園となっています。

Kyū Asakura House, which utilizes the southwest slopes of Sanjūganchō, was built in 1919 by Tōzoku Asakura, stipendiary of the Tokyo Council. On the site's north side is the main building (shukū), while on the west is a storeroom (kura), and on the east a garden gate and garage (anek). Of these buildings, the main building, the storeroom, and the building site are designated "important cultural properties." The garden gate and anek are also designated as "additions."

The main building, which is built around a partially two-story central wing, features a function-based pattern of rooms, including a drawing room (teishūin) for receiving visitors and an inward-facing veranda (engawa) and a restroom. The storeroom is attached to the main building.

The garden, which is integrated with the buildings, is a circuit-style garden designed around the site's contours of the land.



主屋は、一部2階建ての主棟部を中心に、接客のための応接間、内向きの座敷や茶室など、機能に合わせた異なる意匠でまとめられ、土蔵は主屋に附随しています。



庭園北西斜面には、日蓮宗の浄土宗の朝倉徳治郎が建てた、本格的な庭園が広がっています。



主屋は、一部2階建ての主棟部を中心に、接客のための応接間、内向きの座敷や茶室など、機能に合わせた異なる意匠でまとめられ、土蔵は主屋に附随しています。



車庫



附属屋（車庫）

Annex (Garage)

旧朝倉家住宅には大正8年の建設当初から車庫がありました。市街地化が急速に進む東京の周辺部で、自動車は必須の道具となっていきました。屋根を支える洋風の構造、コンクリートの上間、両妻の内側の波形鉄板など、普及し始めた頃の車庫の仕様を良く示しています。のちに管理棟として改造されましたが、詳細な痕跡調査によって創建当初の姿に復原しました。

Kyū Asakura House had a garage from the time it was first built in 1919. On the fringes of Tokyo where urbanization spread at a rapid pace, cars became an everyday necessity. This garage is a good example of the garage specifications that were popular at the time. These include a Western-style structure supporting a roof, concrete floors, and corrugated iron on the inside of the side walls. The garage was later converted into an administration building. However, it has been restored to its original form based on a careful examination of the remains of the original garage.



復原前の写真

© 2011 KYŪ ASAKURA HOUSE. ALL RIGHTS RESERVED.

これが主屋/重要文化財/この他、土蔵及び宅地が重要文化財で庭門及び附属屋(車庫)が附(つけたり)として指定されている



回遊式庭園







土蔵/重要文化財



地蔵・道しるべ(渋谷区)

旧朝倉家住宅入口の対面にある



地藏・道しるべ

猿楽町30番

地藏尊が現世と来世の間に出現して死者の霊を救済するという信仰は、民衆の間に広く信じられてきました。また、小児の霊の冥福を祈る意味でも地藏尊が造立されました。道の辻などに建てられた場合には、道路の安全を祈ることのほか、道しるべになることもあります。

この地藏尊は、文政元(一八一八)年の造立で、その台座正面には、「右大山道、南無阿弥陀仏、左祐天寺道」と刻んであります。地藏堂背後の坂道は、「目切坂または暗やみ坂といい、この坂を下って目黒川を渡ったあと、南へ進むと祐天寺方面に達し、北へ進むと大山道(国道二四六号線)に達します。また、堂前を東へ進むと並木橋に達します。

江戸時代には、人家もまばらな、さびしい道で、旅人はこの道しるべを見て安心したことでしょう。

渋谷区教育委員会



恵比寿神社(渋谷区)

恵比寿駅のすぐ近くにある





恵比寿神社由来
大昔の頃より天津神社天
天傳と称し家内管全統局
皇天正授豊穂の神としり
本任氏に常々祭られ奉りしに
戦後西画整理より記念事
とし現在地に社殿を新築致し
長史史撰し高亮家高縁結い
神串代工命とて祀り合祀
祭恵比寿神社と改りしに
大祭日 十月二十日
宮司 田村 顕 康
恵比寿神社総代会
恵比寿神社祭儀会

祭 神
因幡彦命
豐原野神
角 柱 神
志留江五郎神
伊都郡磯城命
伊都郡那志命
事代主命
恵比寿神社







参考ホームページ

<http://www.city.shibuya.tokyo.jp/est/asakura.html>

http://www.geocities.jp/tokyo_saunterer/a038960.htm

<http://www.uraken.net/rail/travel-urabe192.html>

<http://d.hatena.ne.jp/zaikabou/20090613/1244938265>

http://goshuin.ko-kon.net/touto_jinja/13_ebisu_ebisu-nishi.html

旧朝倉家住宅



恵比寿神社

